

「JLPP翻訳ワークショップ2018」

開 催 概 要



J A P A N E S E
L I T E R A T U R E
P U B L I S H I N G
P R O J E C T

平成30年9月18日
凸版印刷株式会社

開催趣旨

「JLPP翻訳ワークショップ2018」は、優れた若手翻訳家の育成・支援を目的として、JLPP翻訳コンクール最優秀賞および優秀賞を受賞した方々を対象として開催します。経験豊かな翻訳家を講師に迎え、課題作品の英語訳および仏語訳をテキストとして翻訳技術についてディスカッションをするほか、セミナーでは、海外出版社の編集者を招聘し、日本文学翻訳出版の現状やプレゼンテーション手法の講義などを行います。また、連動企画として「現代日本文学翻訳国際フォーラム2018」を実施し、さまざまな分野の人材との交流の機会を提供します。

JLPP事業の構成

JLPP翻訳コンクール

現代日本文学の優れた翻訳家の発掘・育成を目的として開催。

- 第1回JLPP翻訳コンクール
平成22年～平成24年実施
英語／独語
- 第2回JLPP翻訳コンクール
平成26年～平成28年実施
英語
- 第3回JLPP翻訳コンクール
平成28年～平成30年実施
英語／仏語
- 第4回JLPP翻訳コンクール
平成30年～2020年実施予定
英語／露語

**JLPP翻訳コンクール
授賞式**

コンクールの最優秀賞および優秀賞の受賞者を招待し、その成果を顕彰する。連動企画「現代日本文学国際シンポジウム」にも参加。

**(JLPP翻訳コンクール開催記念)
現代日本文学国際シンポジウム**

世界各国の日本文学研究者、翻訳家、作家等を招聘し、様々な言語、多彩な視点から現代日本文学について討論し、その魅力を世界に向け発信する。

JLPP翻訳ワークショップ

翻訳コンクールの最優秀賞および優秀賞、奨励賞受賞者を日本に招待し、実績ある翻訳家、作家、海外出版社編集者を講師とする滞在型ワークショップ。

**現代日本文学翻訳
国際フォーラム**

文学翻訳の領域を、演劇、映画、漫画、エンターテインメント小説にまで広げ、日本語翻訳の可能性を探る。



開催期間および会場

JLPP 翻訳ワークショップ 2018年10月16日 (火) ~18日 (木)

湘南国際村センター <http://www.shonan-village.co.jp/>
〒240-0198 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-39
TEL : 046-885-1800 FAX : 046-855-1816

現代日本文学翻訳国際フォーラム 2018年10月20日 (土)

山の上ホテル「銀河」 <https://www.yamanoue-hotel.co.jp/>
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL : 03-3293-2311 (代表) FAX : 03-3233-4567

	10月16日 (火)	10月17日 (水)	10月18日 (木)	10月19日 (金)	10月20日 (土)	
		ワークショップ			フォーラム	
9:00		9:00~12:00 ディスカッション①	9:00~12:00 ディスカッション③	都内へ移動		
10:00						
11:00						
		ランチ	ランチ			12:00~13:40 第1部
13:00		13:00~16:00 ディスカッション②	13:00~16:00 英仏海外出版社 編集者によるセミナー			13:50~14:40 第2部
14:00						14:50~16:10 第3部
15:00	湘南国際村センター入り				16:10~16:30 質疑応答	
16:00						
17:00		17:00~20:00 歓迎会				
18:00						
19:00						
20:00						

参加者

若手翻訳家を**育成・支援**

「JLPP 翻訳ワークショップ2018」

受講者

第3回JLPP翻訳コンクール受賞者

【英語部門】

イアン・アーシー
マイケル・デイ
ウイニフレッド・バード

【仏語部門】

バンジャマン・ジルー
フランソワ・ブランジェ
アナイス・ファルジア

講師

【英語部門】

イアン・マクドナルド
(翻訳家)
サム・ベット
(翻訳家)

【仏語部門】

パトリック・オノレ
(翻訳家)

受講者および講師のプロフィールはP5～

参加者

若手翻訳家を育成・支援

「JLPP 翻訳ワークショップ2018」

テキスト
および
特別講師

【テキスト】

糸山秋子・著「ニート」
（『ニート』角川文庫所収）

【特別講師】

糸山秋子氏
（芥川賞作家）

セミナー講師
（海外出版社編集者）

【英語圏】

デボラ・スミス
「Tilted Axis Press」
ユカ・イガラシ
「Soft Skull Press」
スーザン・ハリス
「Word Without Borders」

【仏語圏】

マニユエル・トリコト
「Éditions Actes Sud」
ダナ・ビュルラック
「Éditions Denoël」

受講者および講師のプロフィールはP5～



「JLPP 翻訳ワークショップ2018」 「現代日本文学翻訳国際フォーラム2018」

ワークショップ
テキスト

「ニート」(『ニート』角川文庫所収)

「もちろん人に対してどうでもいいなんて言うのはとんでもなく失礼なことだけど、
どうでもいいって言ったら、この世の中本当に何もかもどうでもいいわけで、
それがキミの思想そのものでもあった」(『ニート』より)。
現代人の孤独と寂寥、人間関係の揺らぎを描き出す傑作短篇。



ワークショップ
特別講師

糸山秋子 (イトヤマ・アキコ) (小説家)

1966年東京都生れ。早稲田大学政治経済学部卒業後、住宅設備機器メーカーに入社し、2001年まで営業職として勤務する。
2003年『イツ・オンリー・トーク』で文学界新人賞、2004年『袋小路の男』で川端康成文学賞、2005年『海の仙人』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、2005年『沖で待つ』で芥川賞、2016年『薄情』で谷崎潤一郎賞を受賞。『逃亡くそたわけ』(JLPP第4回選定作品。英語、仏語に翻訳)、『ばかもの』、『妻の超然』、『未裔』、『不愉快な本の続編』、『忘れられたワルツ』など著書多数。

ワークショップ英語部門

講師

Ian MacDonald (イアン・マクドナルド) (翻訳家)

1968年アメリカ・ワシントン生まれ。アメリカ・スタンフォード大学大学院で江戸文学・日本美術史を専攻し、博士号を取得。三島由紀夫、倉橋由美子、泉鏡花などの作品を翻訳。第1回しずおか世界翻訳コンクールで最優秀賞受賞。また、TBS「世界遺産」の英語版を10年以上担当。JLPP作品では、岡本綺堂『半七捕物帳』、北原亞以子『恋忘れ草』、高橋克彦『写樂殺人事件』、菊地秀行『幽剣抄』を翻訳。その他翻訳出版多数。

講師

Sam Bett (サム・ベット) (翻訳家)

1986年生まれ。米国、ニューヨーク在住。第2回JLPP翻訳コンクール英語部門最優秀賞受賞。ボストン大学卒業後、日本に短期留学。商業翻訳に携わりながら、日本文学の翻訳や創作を続ける。JLPP翻訳コンクール課題作の小川洋子「涙売り」が「Monkey Business」(第7号2017年)に掲載されたほか翻訳出版多数。2018年3月、英国・ニューカッスル大学主催「村上春樹と現代日本文学」文芸英語翻訳ワークショップに参加。同年4月、「日英文芸翻訳体験」という翻訳ワークショップを自身がたちあげ、ミドルベリー大学、ボストンカレッジ、マサチューセッツ大学で開催。

受講者

Iain Arthy (イアン・アーシー) (第3回JLPP翻訳コンクール英語部門最優秀賞受賞)

1962年生まれ。イギリス生まれカナダ国籍、東京在住。フリーランス翻訳者。バンクーバー、プリティッシュ・コロンビア大学人文学部卒業。古代ギリシア語・ラテン語専攻。84年から3年間、日本の中学校で英会話教師として勤務。90年トロント大学大学院東アジア研究科で修士号を取得。89年より91年まで山口大学に研究生として留学し、幕末・維新史を研究。91年よりフリーの翻訳家として広告代理店や企業などの和文英訳を担当。2014年黒田藩プレス翻訳賞受賞。

受講者

Michael Day (マイケル・デイ) (第3回JLPP翻訳コンクール英語部門優秀賞受賞)

1983年生まれ。アメリカ、フロリダ州在住。フリーランス翻訳者（日本語、中国語、スペイン語、英語の学術論文、ビジネス資料、ウェブサイト等の翻訳）。2002年、神戸大学日本語エッセイコンテストで優勝し、神戸YMCAの奨学金を取得。2009年、南カリフォルニア大学大学院東アジア研究学部修士号取得。早稲田大学国際学部、北京外国語大に留学。イギリスLeeds大学の「Bai Meigui」中国文学翻訳コンクール最優秀賞（2015年）。日本語能力試験1級合格。

受講者

Winifred Bird (ウィニフレッド・バード) (第3回JLPP翻訳コンクール英語部門優秀賞受賞)

1979年生まれ。アメリカ、イリノイ州在住。フリーランスライター、編集者、翻訳者（人文科学系の学術論文、デザイン・アート関連）。アムハースト大学で政治学、バーモント法律大学で核政策を学ぶ。2005年から2014年まで日本の地方に在住。現在は環境問題や建築に関連する記事を『ドウウェル』、『インテリアデザイン』、『イェール・エンバイロメント360』、等に寄稿。2017年のロンドン大学での文芸翻訳ワークショップ参加をきっかけに文芸翻訳を目指す。

ワークショップ仏語部門

講師

Patrick Honoré (パトリック・オノレ) (翻訳家)

1950年生まれ。フランス、パリ在住。プロバンス大学で現代日本文学を学び、修士号取得。東京大学で比較社会学課程修了。その後、ユニフランス、ハイチ大使館などに勤務し、現在は日本文学の仏語翻訳を多数出版。JLPP作品では夢野久作『ドグラ・マグラ』、又吉栄喜『人骨展示館』、内田百閒『冥途・旅順入城式』、江國香織『神様のボート』、古川日出男『ベルカ、吠えないのか？』を翻訳。その他、手塚治虫、水木しげる、杉浦日向子、谷口ロジャーなどの漫画も仏訳している。関口涼子氏との共訳によるパトリック・シャモワゾー『素晴らしきリゾボ』は第2回日本翻訳大賞を受賞。

受講者

Benjamin Giroux (バンジャマン・ジルー) (第3回JLPP翻訳コンクール仏語部門優秀賞受賞)

1974年生まれ。フランス、パリ在住。フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO) で日本語・現代日本文学を学び、修士号取得。2002年4月、日本国政府国費留学生として来日、東京外国語大学で日本近現代文学を専攻し、堀江敏幸の研究で修士号を取得。2015年、日本語のアグレガシオン (一級教員資格) を取得し、ラ・フォンテーヌ中学・高等学校で日本語講師、フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO) 日本語非常勤講師として、日本語・現代日本文学を教えている。

受講者

François Boulanger (フランソワ・ブランジェ) (第3回JLPP翻訳コンクール仏語部門奨励賞受賞)

1992年生まれ。フランス、パリ在住。フリーランス翻訳者。2010年にフランス国立東洋言語文化大学 (INALCO) に入学し、2013年、日本語学学士号取得、2016年同大学院日本語学部修士課程卒業、修士号取得。パリ警視庁で日仏通訳をつとめた後、カステルマン社研修生として漫画編集に携わり、現在にいたる。

受講者

Anais Farrugia (アナイス・ファルジア)

(第3回JLPP翻訳コンクール仏語部門奨励賞受賞)

1994年生まれ。フランス、リヨン在住。2017年、ジャン・ムーラン・リヨン第3大学大学院日本語研究科研究専攻修士課程を修了。吉村昭『水の葬列』、『星へのたび』、『少女』、『少女架刑』を研究。高校時代から日本文学に強い興味を持ち、特に角田光代の作品を愛読。大学で文芸翻訳を学ぶ。日本でフランス語の教師になることを目指している。